Produced by FET

トヨタハイエース専用 ヘッドライト専用キット
《200系 標準・ワイドボディ共用》
取付・取扱説明書

アサヒライズ株式会社　エフイーティー事業部
〒379-2131 群馬県前橋市西善町2004
CATZ HOT LINE TEL.027-266-7435

⚠ ご注意

■この度は、トヨタハイエース専用ヘッドライト専用ヘッドライト専用キットをお買い上げいただきましてありがとうございます。
この製品は、お車のヘッドライトをハロゲンバルブから、HIDバルブに交換する為の製品です。
正しく安全にご使用頂く為に、この取付け、取扱説明書をよくお読みになり、内容をご確認、ご了承の上でご使用ください。
■本製品はエンジン始動時にオートライトモード（コンライト）になっていると、HIDが点灯しない場合があります。
これは始動時の車輌側電力供給の低下などの要因が関係します。不点灯になった場合、一旦、スイッチをOFFにして再度ONにするとHIDは点灯します。
※エンジンを止める際にオートライトモードを解除しておく事をお勧めします。
■本製品を車両に装着するには、ライトの脱着が必要です。
■本製品は、《200系　ハイエース･レジアスエース》専用です。当該車両以外では使用しないでください。
■本製品の使用、取付けの際には、本取付･取扱説明書、及び車両メーカー作成の整備マニュアル、電気配線図に従い、注意して作業を行ってください。
■HIDシステムは陸運支局に確認の上、車検対応として製造されておりますが、通常のハロゲンバルブとは異なる発光色に見える為、稀に検査官によっては不適合と判断される場合があります。また、一部の車両ヘッドライトとの組み合わせでは、霧灯の色度または異なる発光色に見える為、車検に適合しない場合があります。これらの場合、申し訳ございませんが、ハロゲンバルブに戻し、受検してください。
■本製品は、通常のHIDシステムやハロゲンバルブより明るさが増加する為、光軸が合っていなかったり、故意に光軸を上に向けたりすると事故を誘発する恐れがありますので、必ず光軸を正しく合わせてご使用ください。
■本製品の取付、交換は専門の技術が必要です。安全の為、必ず、整備工場か自動車電装品取扱いの専門店に作業を依頼してください。

製品仕様

【H.I.D バルブ】
- タイプ　：H4
- 消費電力：35w

【インバータ】
- 定格入力電圧　　：DC　12v
- 定格出力電圧、電流：85v、35w

【イグナイタ】
- 無負荷二次電圧：20～30kv

構成部品

※ご使用前に部品が全て揃っているか、ご確認ください。

1	HIDバルブ	2	2	イグナイタ	2	3	インバータ	2	4	H.I.Dコントロールユニット	1	5	コントロールハーネス A	2
6	コントロールハーネス B	1	7	コントロールリレー	2	8	インバータ電源線	2	9	コルゲートチューブ	2	10	インシュロック	8
11	スペアー ヒューズ（15A）	1	12	フード・スペーサー	各2	13	ネジ(M3×6)	2	14	インバータステー L	1	15	インバータステー R	1
16	イグナイタステー	2	17	イグナイタ　固定	2	18	ユニットステー	1	19	ヒューズステー A	1	20	六角ボルト(M6×10)	2
21	六角ボルト(M6×15)	4	22	M6平ワッシャー	6	23	M6-30 平ワッシャー	1	24	M6ナット	3	25	六角タッピングネジ(M5×16)	7
26	スクリューグロメット	6	27	六角ボルト(M5×8)	4	28	スポンジシート	1	29	M5スプリングワッシャー	10	30	M5平ワッシャー	11
31	M5ナット	1												

140512

⚠ 安全に関するご注意 ※ご使用になる前に必ずお読みください。

⚠ 警　告

⃠ ガラス球内部の圧力が高いため、落としたり、物をぶつけたり、無理な力を加えたり、キズをつけたりしないでください。

破損した場合、ガラス破片が飛散しケガの原因となります。

⃠ 紙や布などでおおったり、燃えやすいものに近づけないでください。

火災の原因となります。

⚠ 注　意

⚠ このＨＩＤ システムは高電圧(約2万ボルト)を発生しますので取扱い(取付け)には充分ご注意ください。

イグナイタ、インバータは、始動時に高電圧を発生する為、ノイズが発生する場合があり、イグナイタ、インバータの取付位置や車両によっては、車両（コンピュータ、オーディオ等）に影響する場合があります。

⚠ ライト点灯中や消灯直後は、手や肌などで触れたり洗車などは、おこなわないでください。

点灯中や消灯直後はライトのレンズやボディーが熱いのでヤケドの原因となることがあります。 また、点灯中や消灯直後の洗車は温度差によるレンズ割れの原因となることがあります。
※洗車やライト付近の作業をおこなう場合は、充分にさました後、作業をおこなってください。

⚠ 点灯中の光(電球)を間近で長時間見つめないでください。

目が痛くなったり、視力障害の原因となります。

⚠ 感電の恐れがありますので、バルブを接続しない状態で電源を入れないでください。

ＨＩＤ バルブをイグナイタへ接続しない状態で、ライトスイッチをオンにするとイグナイタ側のＨＩＤ バルブ接続端子部に高電圧が発生し、感電する恐れがあります。
また、この状態でライトスイッチをオフにしても高電圧が残留(遮断後約300msec以内)し、感電する恐れがあります。

⚠ ライトの光軸が適正位置であるかを必ずご確認ください。

このシステムは、通常のハロゲンバルブより明るさが増すため、光軸が合っていなかったり、故意に光軸を上に向けたりすると事故を誘発する恐れがあります。

⚠ 取付作業に関するご注意 ※ご使用になる前に必ずお読みください。

○ 停車中(信号待ちなど)の点灯／消灯は頻繁におこなわないでください。

点灯／消灯をくり返すことによりバルブ内部の電極が消耗し短寿命や不点灯など、システムがトラブルを起こす原因となります。
注)ライトスイッチの点灯／消灯を短い間隔でくり返すと点灯しなくなる場合があります。
　これは、インバータの安全装置が作動して起こるもので故障ではありません。 この症状が出た場合、数秒の間隔(10秒以上)を置いてから再点灯をおこなってください。

○ 下記症状は使用環境や状況によって発生するもので製品不良によるものではありません。

この症状はインバータの昇圧差や固体差によって発生する症状で、クレームの対象とはなりませんので、ご理解の上ご使用ください。
1）点灯直後や再点灯時に(約10～20秒間)赤味を帯びた色や青白い色など、通常の点灯色にならないことがあります。
2）左右のライトが同時に点灯しないことがあります。
3）点灯時、左右の照射色が異なる場合があります。これは商品の固体差により発生するものでクレーム対象とはなりませんので、ご理解の上ご使用ください。

○ 一部の車両において、球切れモニターが点灯する場合があります。

この症状は、車両側ライトの電気制御系統とＨＩＤ システムの相性により発生する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

○ 改造、分解は絶対におこなわないでください。

この商品は、精密な電子回路の集合体です。システムの作動中は高電圧を発生しますので、インバータ・イグナイタ・ＨＩＤ バルブなどの改造や分解は絶対におこなわないでください。
また、改造や分解、不当な修理に起因し生じた故障および損傷については、製品保証の対象外となりますので、ご了承ください。

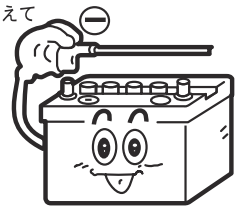
使用中におかしいな？と思ったら!!

1）速やかに車両を安全な場所へ移動し、停止させてください。
2）ライトスイッチを消灯状態にして、数秒後再点灯をおこなってください。
3）上記作業を何度かおこなっても症状が改善されない場合は、再度１０分から２０分程度電源を切り（ハザードは除く）、その後再点灯をおこなってください。
※上記作業をおこなって正常にもどれば、インバータの安全回路が作動に起因し発生した症状なので、そのままご使用頂いて問題はありません。
　もし症状が改善されない場合やその他のトラブルが発生した場合は、最寄の駐車設備のある場所へ車両を移動し、速やかに購入・取付けをおこなった販売店へご相談ください。

⚠ 使用に関するご注意 ※ご使用になる前に必ずお読みください。

●必ず、バッテリーのマイナスケーブルを外す。

※ラジオのプリセットチューニングなど電装品のメモリーを控えておく。《車種によりバッテリーケーブルを取外すと車両側の制御機能が誤作動する場合があります。詳しくは車両の取扱マニュアルをご参照ください。》

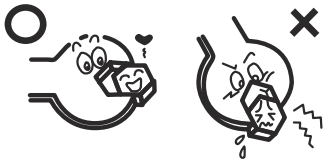


●ランプ、ホーン、ワイパー、オーディオなどの車両電装品が正常に作動するか確認する。

※取付後の修復チェックを確実に行う。

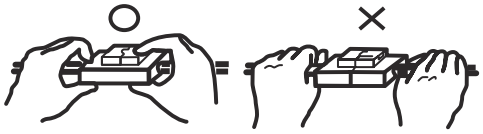
●ボルト、ナット、の締め付けには、寸法の合った工具を利用して確実に行う。

※締め付けトルクの指示がある部位は規定トルクで締め付ける。



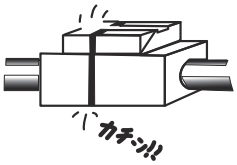
●車両のコネクターを外す際はリード線を引っ張らず、コネクター本体を持ってロックを外すこと。

※ハーネス断線を防止する。



●コネクターやターミナル端子は、確実に接続の事。

※接続不良を防止する。



●ハーネス（配線）配索の際は車両のワイヤリングハーネスに沿ってまとめたり、クランプを使用して固定しぶらぶらさせない。

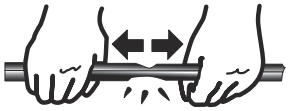
※イグナイタ、バルブ間の配線を絶対に結束しないでください。

●部品の取付けや、外したフィニッシャー類を取付ける際は、裏側のハーネスをひっかけたりかみ込んだりしないこと。

※ハーネス断線を防止する。

●車両のワイヤーリングハーネスを強く引っ張らないこと。

※コネクター外れや断線を防ぐ。



●ハーネス配索後、修復前に取付けた部品の作動チェックを行うこと。

※誤配線の防止。

⚠ 取扱(取付)に関するご注意 ※ご使用になる前に必ずお読みください。

装着作業をおこなう際は下記項目を必ずお守りください。

※下記の項目をお守りいただけずに発生したトラブルに関しては、クレームとしてお受けできません。

◎取付作業を開始する前に、必ずシステムの作動確認をおこなってください。

※バルブパッケージは未開封の状態でイグナイタ、インバータを仮接続し、バッテリー電源などを使用し点灯確認をおこなってください。
※バルブパッケージ開封後は、クレームとしてお受けできません。(但し、製品上のトラブルは除く)
※点灯テスト手順は、別項の点検要領をご参照ください。

◎ＨＩＤ バルブの装着作業をおこなう際は、必ず車両からライトを取外しておこなってください。

※ＨＩＤ バルブはとてもデリケートです。装着作業をおこなう際は必ず車両からライトを取外した状態でおこなってください。

◎車両のライトヒューズ容量を必ず確認してください。

※システム起動時に電気容量が必要となりますので、車両側ライトヒューズの容量を必ず確認してください。
ライトヒューズの容量が15A以下の場合は、15Aヒューズ(最大20A)と交換をおこなってください。

◎イグナイタ、インバータの取扱は慎重におこなってください。

※イグナイタ、インバータは精密な電子回路の集合体です。　落としたり、配線を引張ったりしないでください。
また、システム作動中は高電圧が発生しておりますので装着や点検作業をおこなう場合、必ずライトスイッチがオフになっていることやバッテリーの端子が取外されていることを確認の上、作業をおこなってください。
インバータ、イグナイタの取付けに際しては、水や熱がかかりにくいエンジンルーム内へ確実に固定してください。

◎減光システム装置付き車両への装着または併用はできません。

※一般的な減光システムは、出力電圧を自動で調整(上げ下げ)することでライトの光量調整(減光)をおこなう装置です。
ＨＩＤ システムと併用した場合、減光システムが作動した際、ＨＩＤ の作動に必要な最低起動電圧(9ボルト)を下回り、電圧不足が発生し不点灯やシステムの破損の原因となります。

ＨＩＤ バルブ点灯テスト要領

☆HIDバルブの点灯テストはケース開封前に必ず実施してください。☆

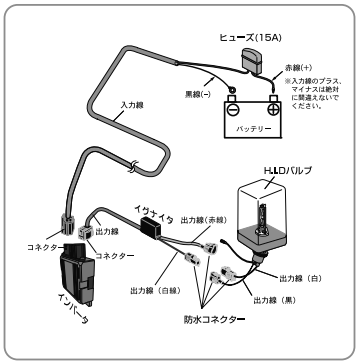
当商品は出荷前に振動／点灯試験を実施しておりますが、装着作業を円滑に進める上で取付け作業前に、下記点灯テスト要領をご参照の上、必ず点灯確認作業をおこなってください。

《点灯テスト手順》

①ＨＩＤバルブを開封する前に左図をご参照の上、ＨＩＤ バルブ、イグナイタ、インバータ、電源線をそれぞれ接続してください。
②接続終了後、入力線の黒線をバッテリーのマイナス側端子へ仮付けしてから、入力線の赤線をバッテリーのプラス側端子へ接続してください。
③ＨＩＤ バルブが点灯すればテストは終了となります。

⚠ ご注意

⚠ 点灯テストは、10秒以内で終了させてください。
指定時間以上点灯をおこなった場合、ヤケドやバルブケースの溶解などケガの原因となります。
⚠ 点灯テストで、点灯が確認できない場合は、直ちに取付け作業を中止してください。
⚠ システムの破損につながりますので、電源接続の際は、プラス(＋),マイナス(－)を絶対に間違えないでください。
⚠ 破損や作動不良の原因となりますので、インバータケースにバッテリーなどのプラス電源が触れないよう、ご注意ください。
※装着前の点灯テストを怠りバルブケースを開封した場合や装着作業中に発生した破損などはクレームの対象外となりますので十分ご注意ください。



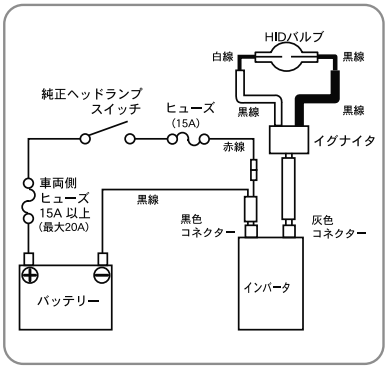
⚠ 取付(システム)概要・接続構成図

取付概要・接続構成図

⚠ ご注意
車両側のランプヒューズが15A以上であるか、必ず確認をおこなってください。
※車両側のランプヒューズが15A以下の場合、ランプヒューズを15A(最大20A)へ変更をおこなってください。

システム概要

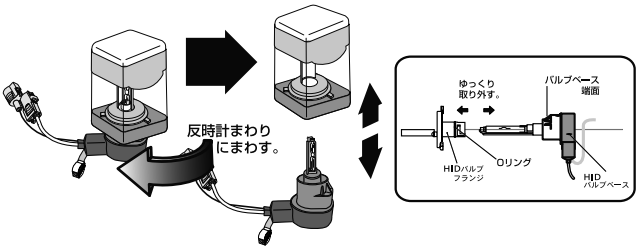
◎取付け作業を開始する前に、システム全体の取付け概要を理解してください。
◎取付けの際には、取扱い説明書及び車両メーカー制作の配線図に従って充分に注意して作業をおこなってください。



【バルブケースからの取外し方法】

①バルブケースを片手で持ち、もう一方の手でバルブベースを反時計方向にまわしてください。
②バルブベースをバルブケースからゆっくり引き出し、バルブフランジとバルブベースを分離してください。

ご注意
※②の作業を行う際は、バルブベースがOリングを通過するまで多少かたい場合があり、勢い良く引き抜くとバルブを破損する可能性がありますので、充分ご注意ください。



トラブルシューティング

◎全く点灯しない

ヘッドランプスイッチはONになっていますか？	NO →	ヘッドランプスイッチをONにしてください。
各コネクターは確実に接続されていますか？	NO →	コネクターを確実に接続してください。
アースは確実に接続されていますか？	NO →	アース端子を確実に接続してください。
ヒューズは切れていませんか？	NO →	新品の15A ヒューズと交換してください。

ＨＩＤシステムに異常が発生していますので取付を行った販売店（発売元）で点検をお受けください。

◎片側が点灯しない

各コネクターは確実に接続されていますか？	NO →	コネクターを確実に接続してください。
アースは確実に接続されていますか？	NO →	アース端子を確実に接続してください。
点灯するライト側のインバータ・イグナイタを点灯しない側へ付け替えてください。	NO →	バルブにトラブルが発生しています。（販売店にて点検を受けてください。）

片側のＨＩＤシステムに異常が発生していますので取付を行った販売店（発売元）で点検をお受けください。

【HIDコントロールシステム】

◎切り替わらない

ヘッドランプスイッチはONになっていますか？	NO →	ヘッドランプスイッチをONにしてください。
各コネクターは確実に接続されていますか？	NO →	コネクターを確実に接続してください。
アースは確実に接続されていますか？	NO →	アース端子を確実に接続してください。
コントロールシステムのヒューズは切れていませんか？	NO →	トラブルの原因を解消してから新品の10A ヒューズと交換してください。

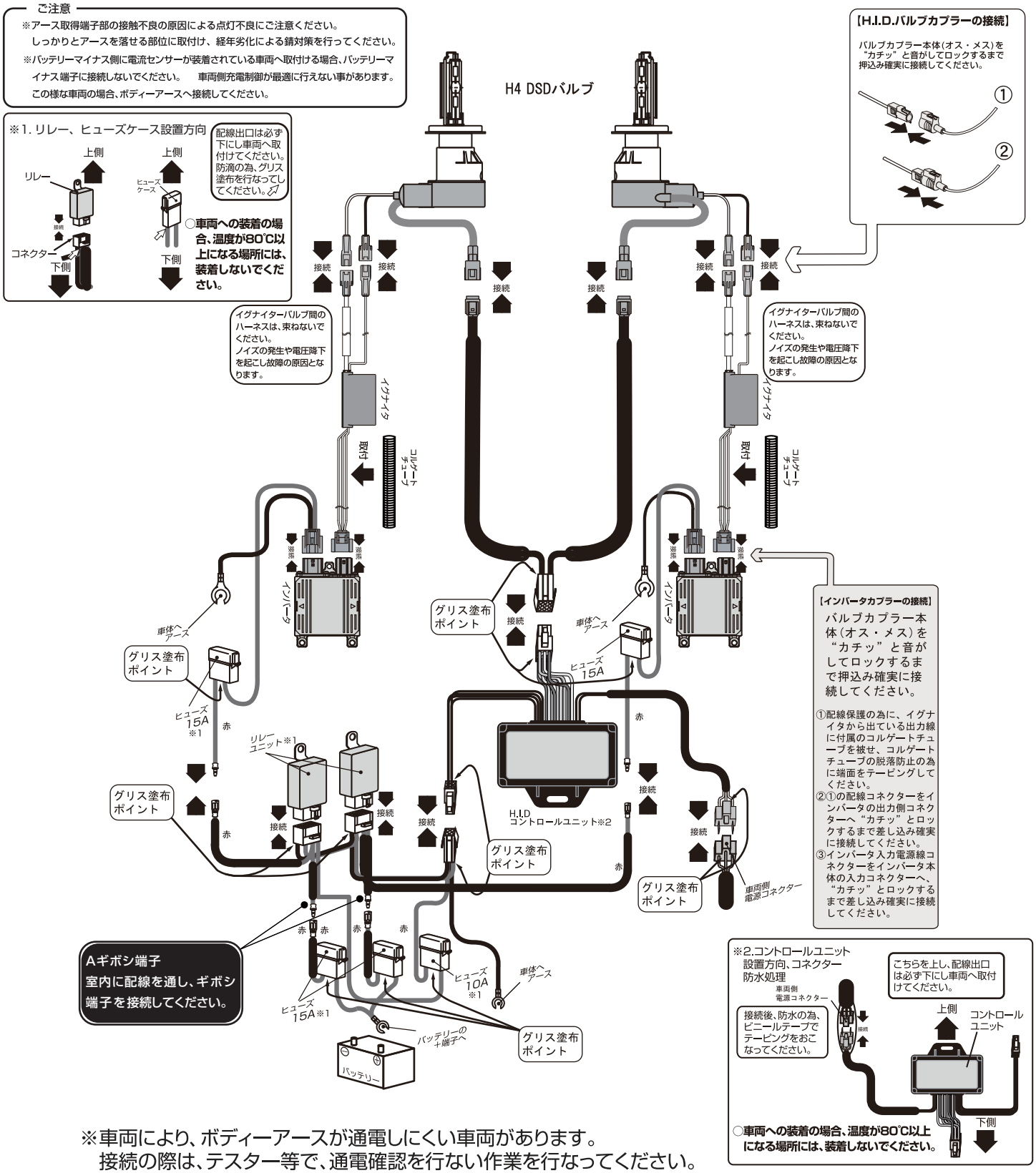
ＨＩＤシステムに異常が発生していますので取付を行った販売店（発売元）で点検をお受けください。

⚠ 取付(システム)概要・接続構成図

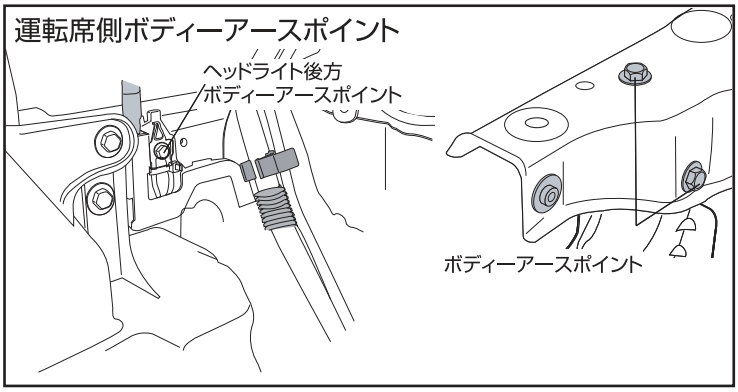
ご注意

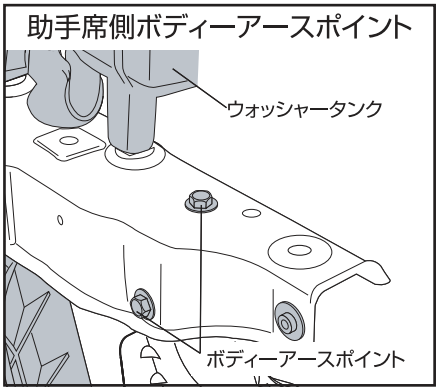
※アース取得端子部の接触不良の原因による点灯不良にご注意ください。
しっかりとアースを落せる部位に取付け、経年劣化による錆対策を行ってください。

※バッテリーマイナス側に電流センサーが装着されている車両へ取付ける場合、バッテリーマイナス端子に接続しないでください。　車両側充電制御が最適に行えない事があります。
この様な車両の場合、ボディーアースへ接続してください。



※車両により、ボディーアースが通電しにくい車両があります。
接続の際は、テスター等で、通電確認を行ない作業を行なってください。

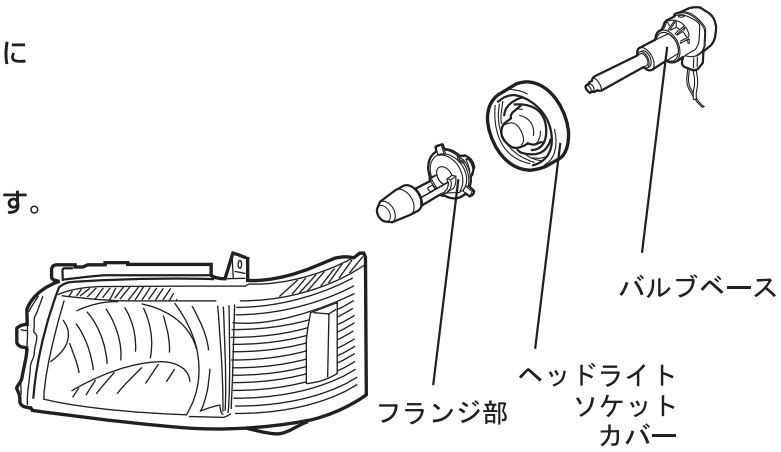




2-2 HIDバルブの取付け

1．フランジ部に付属のフードキャップをフランジカバーに取付けてください。
2．ヘッドライトユニットより、純正のハロゲンバルブを取外してください。
4．ヘッドライトソケットカバーをフランジ部に取付けます。
5．最後に、バルブベースをフランジ部に取付け、時計回りにまわしてロックしてください。

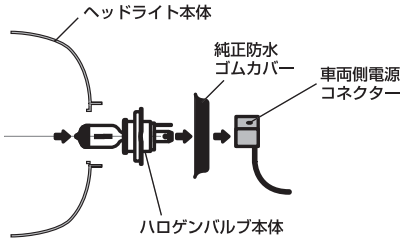
※フードキャップの組付け及びＨＩＤバルブの装着は下記を参照の上確実に取付けてください。



HIDバルブ装着手順

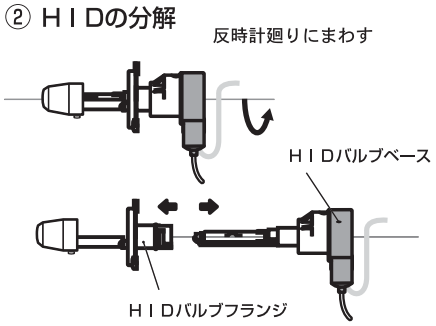
【装着準備】

① ハロゲンバルブ脱着



純正で装着されているハロゲンバルブをヘッドライト本体から取外してください。

② ＨＩＤの分解

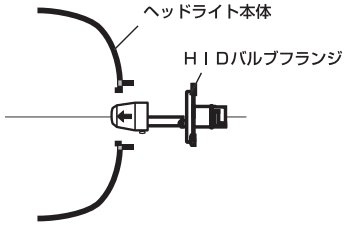


ＨＩＤバルブ本体のフランジ部とベース部を分解します。
※フランジ部を固定した状態でベース部を反時計方向へ回しロックを解除してから慎重にベース部を引き出してください。

※ベース部を取外す際ＨＩＤの発光部も一緒にはずれますので、脱着時に破損させないよう、十分ご注意ください。

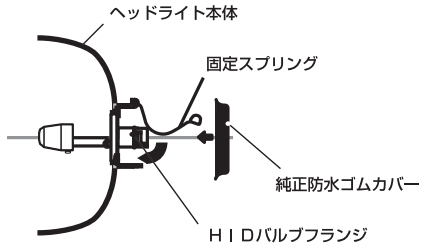
【装着手順】

【装着手順 1】



ＨＩＤバルブのフランジ部をヘッドライト本体に取付けます。

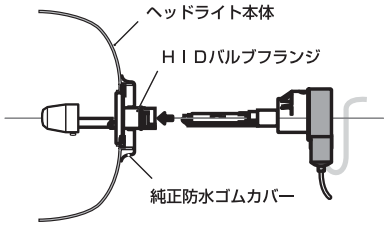
【装着手順 2】



フランジ部をヘッドライト本体の固定スプリングで固定した後、純正防水ゴムカバーを取付けます。

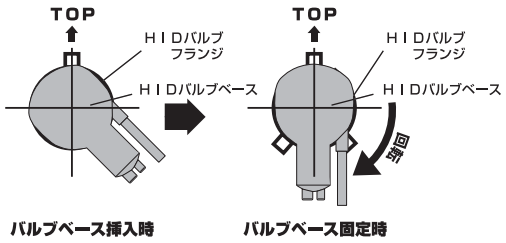
※ＨＩＤバルブフランジの取り付け、固定はハロゲンバルブと同様にしてください。

【装着手順 3】

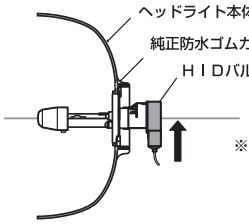


ヘッドライトに取付けたＨＩＤバルブのフランジ部へベース部を挿入後、時計回りに回転させ、フランジ部とベース部をロックしてください。

※フランジ部へベース部を挿入する際、ＨＩＤ発光部を破損しない様、十分ご注意ください。



【完成図】

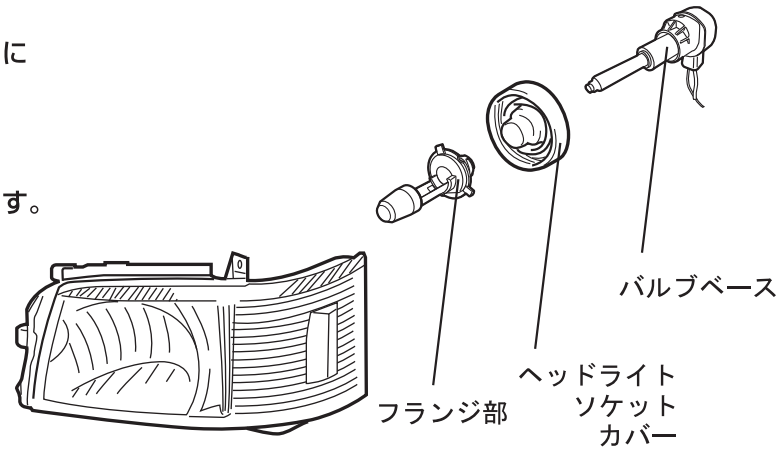


※バルブから出ている配線を引っ張ったり、車両配線と束ねないでください。
Hi/Lowの作動不良や他の配線と束ねる事で、ノイズや電圧降下による故障の原因になります。

2-2 HIDバルブの取付け

1．フランジ部に付属のフードキャップをフランジカバーに取付けてください。
2．ヘッドライトユニットより、純正のハロゲンバルブを取外してください。
4．ヘッドライトソケットカバーをフランジ部に取付けます。
5．最後に、バルブベースをフランジ部に取付け、時計回りにまわしてロックしてください。

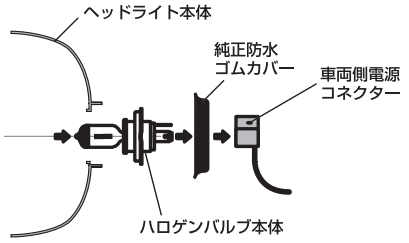
※フードキャップの組付け及びＨＩＤバルブの装着は下記を参照の上確実に取付けてください。



HIDバルブ装着手順

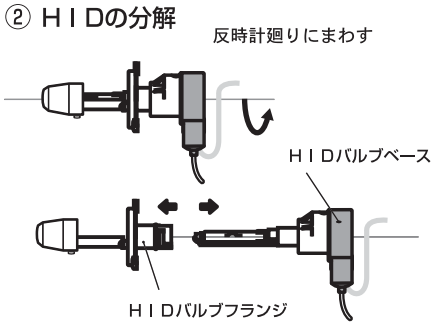
【装着準備】

① ハロゲンバルブ脱着



純正で装着されているハロゲンバルブをヘッドライト本体から取外してください。

② ＨＩＤの分解

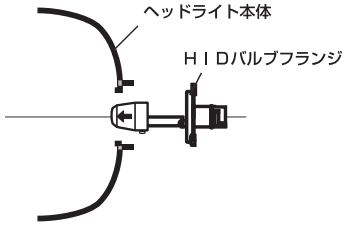


ＨＩＤバルブ本体のフランジ部とベース部を分解します。
※フランジ部を固定した状態でベース部を反時計方向へ回しロックを解除してから慎重にベース部を引き出してください。

※ベース部を取外す際ＨＩＤの発光部も一緒にはずれますので、脱着時に破損させないよう、十分ご注意ください。

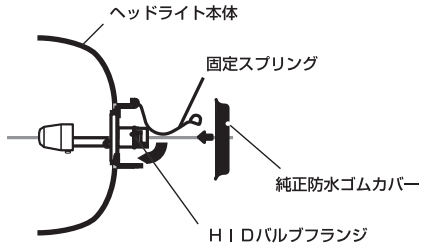
【装着手順】

【装着手順 1】



ＨＩＤバルブのフランジ部をヘッドライト本体に取付けます。

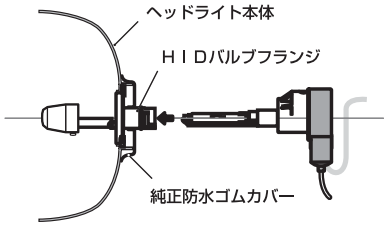
【装着手順 2】



フランジ部をヘッドライト本体の固定スプリングで固定した後、純正防水ゴムカバーを取付けます。

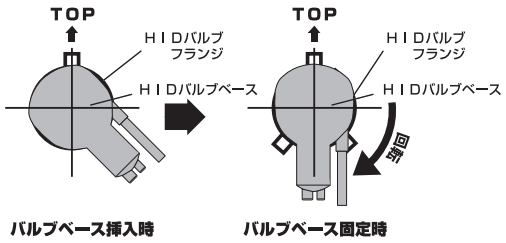
※ＨＩＤバルブフランジの取り付け、固定はハロゲンバルブと同様にしてください。

【装着手順 3】

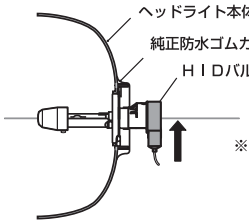


ヘッドライトに取付けたＨＩＤバルブのフランジ部へベース部を挿入後、時計回りに回転させ、フランジ部とベース部をロックしてください。

※フランジ部へベース部を挿入する際、ＨＩＤ発光部を破損しない様、十分ご注意ください。



【完成図】



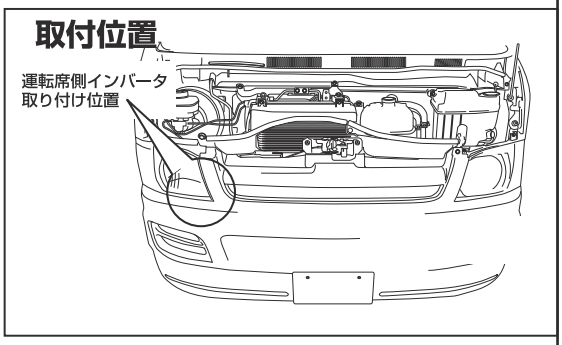
※バルブから出ている配線を引っ張ったり、車両配線と束ねないでください。
Hi/Lowの作動不良や他の配線と束ねる事で、ノイズや電圧降下による故障の原因になります。

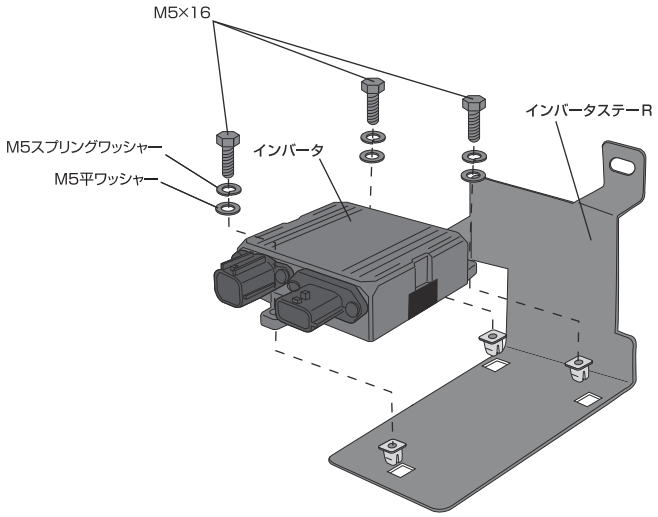
取付手順 3　インバータ　イグナイタの取付け

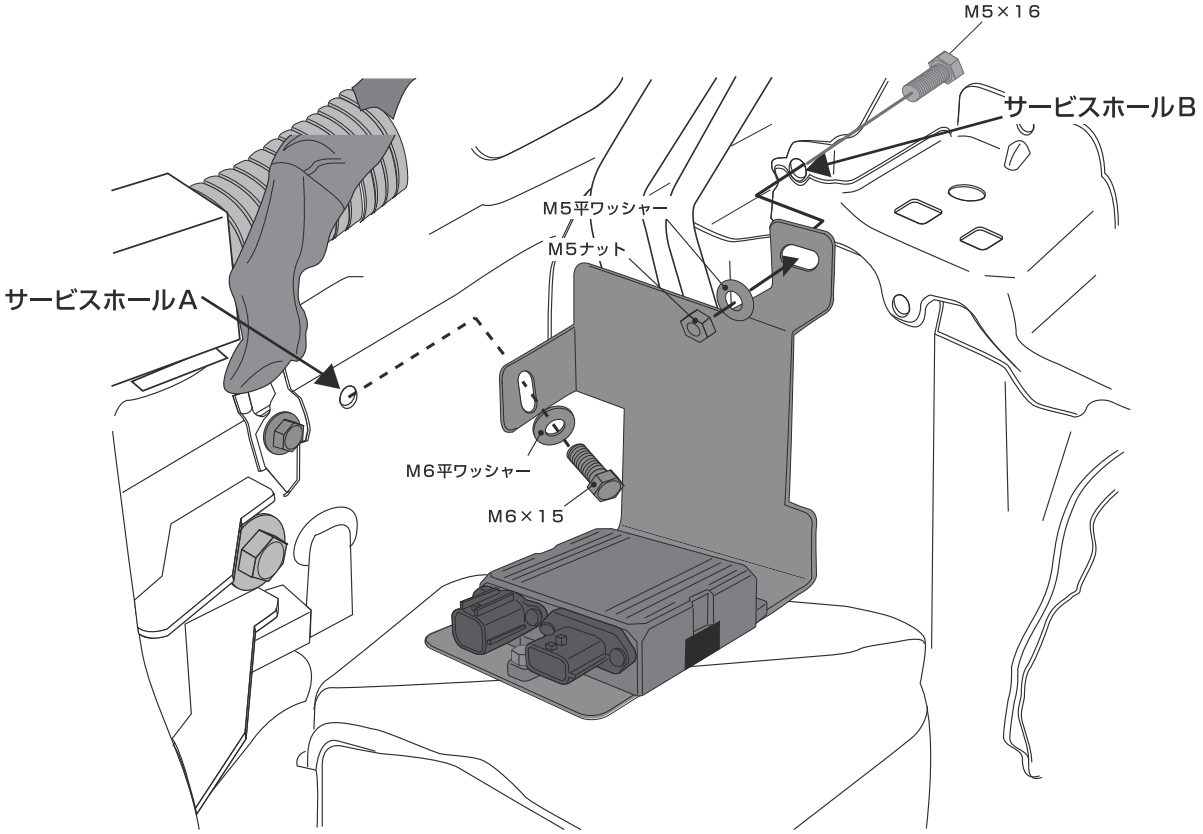
3-1　運転席側インバータの取付け

1. インバータステーRに付属のスクリューグロメットを取り付けた後、ボルト（M5×16）M5スプリングワッシャー、M5平ワッシャーを各1個使用し、インバータ本体をステーに固定してください。

2. 車両サービスホールAを使い、本製品付属品のボルト（M6×15）、M6平ワッシャーを各1個使用、もう一方の車両サービスホールBは、サービスホールBの裏側より、本製品付属品のボルト（M5×16）を差し込み、M5平ワッシャー、M5ナットを各1個使用し、インバータステーRを固定します。







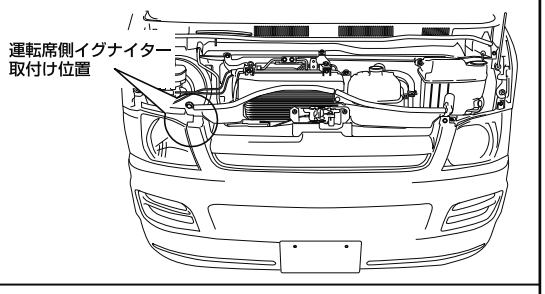
3-2　運転席側イグナイターの取付け

1．付属のボルト（M5×8）、M5スプリングワッシャー、M5平ワッシャーを各2個使用し、イグナイタステーAとイグナイタステーBでイグナイタ本体を挟み固定してください。

2．車両サービスホールのある部位に、裏側からイグナイタを固定したステーAを、車両サービスホールを利用し、付属のボルト（M6×15）、M6-30平ワッシャー、M6平ワッシャー、M6ナットを使用し車両へ取付けてください。

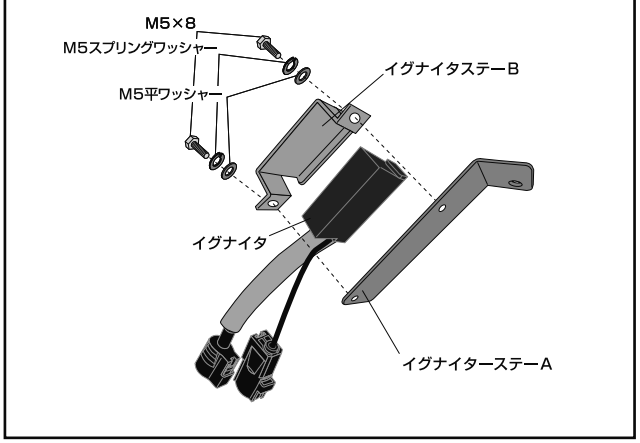
3、車両サービスホールを使用し、ステーAを車両に固定します。
※本製品付属のボルト（M6×15）、M6×30平ワッシャー、M6ナットを使用し、ホール裏側から確実に取付けてください。

取付位置

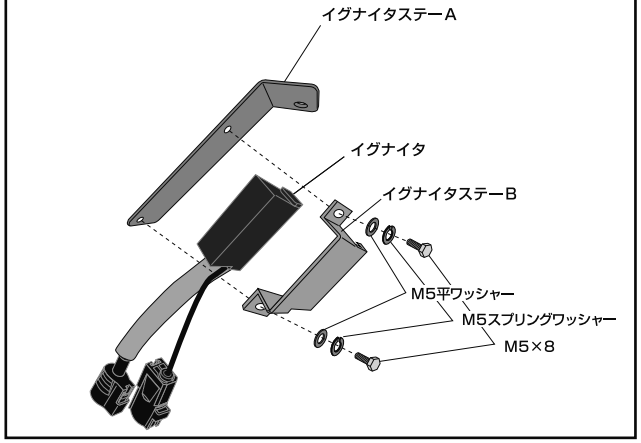


イグナイタとステーの組付け

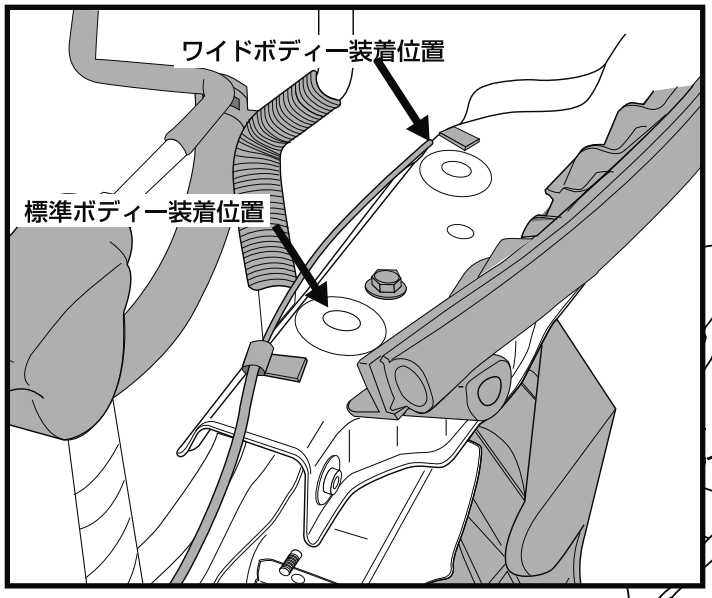
標準ボディーへ装着する場合

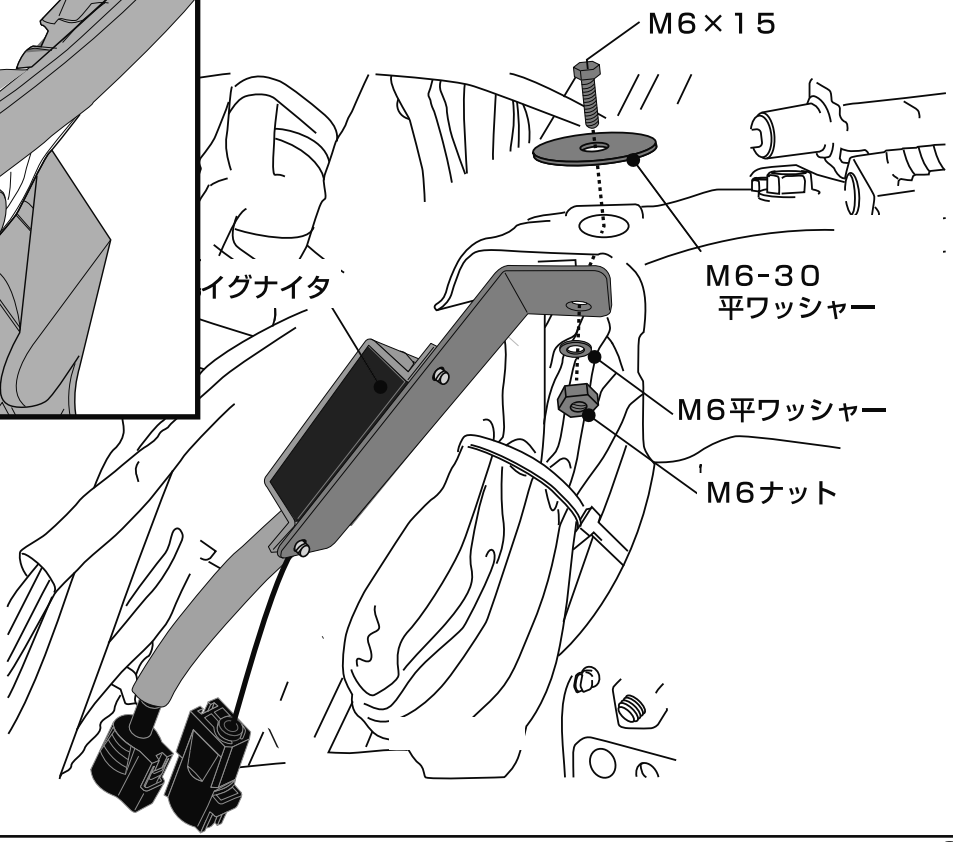


ワイドボディーへ装着する場合



イグナイタステー取付位置



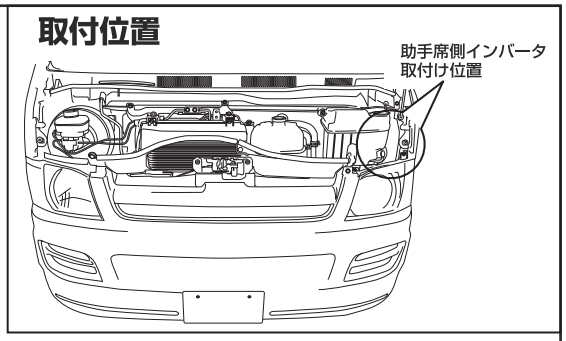


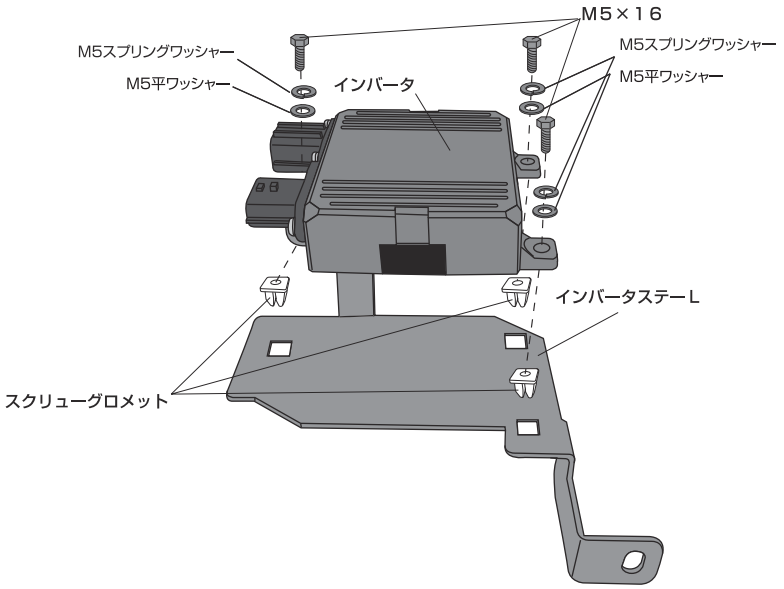
＝ご注意＝

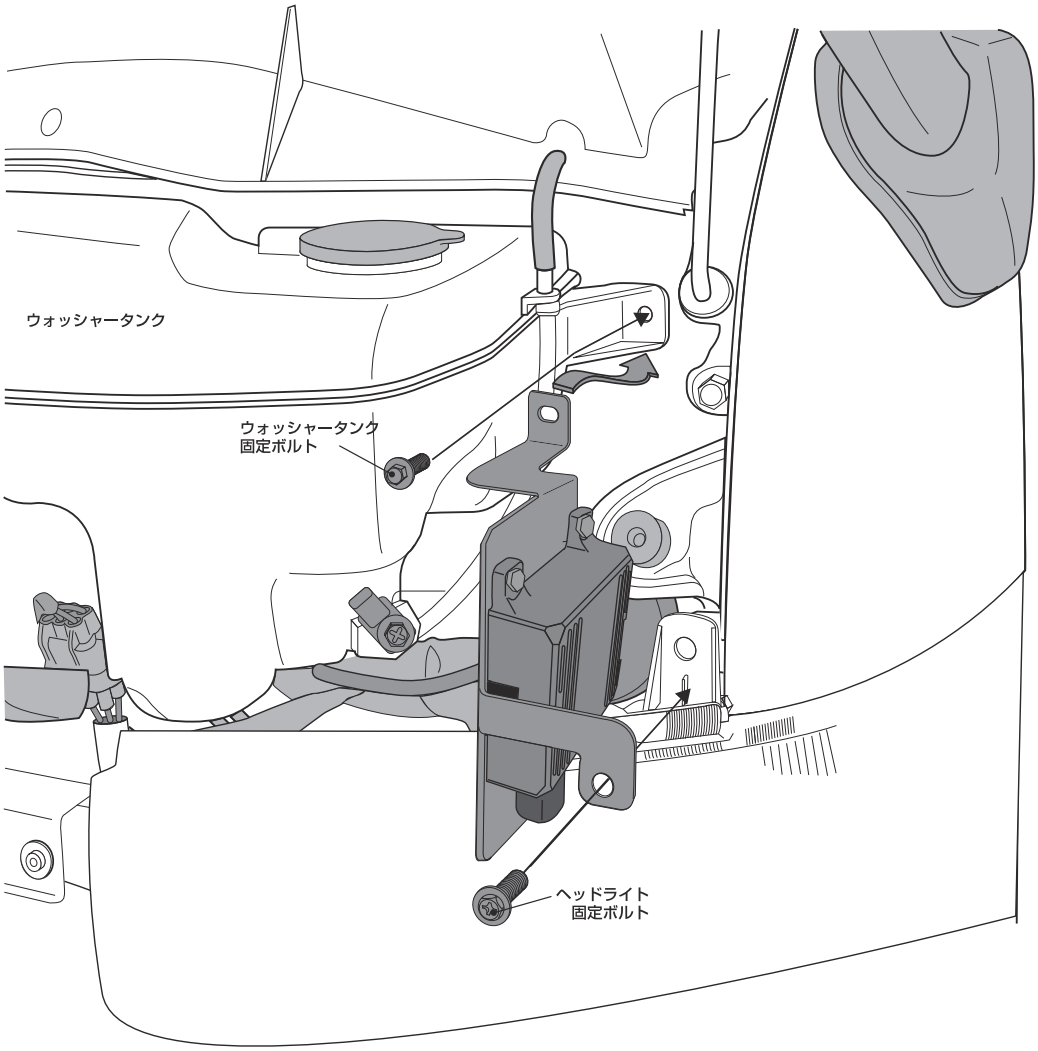
標準ボディー車とワイドボディー車ではイグナイタステーの装着する車両側の穴位置が異なります。
上図**イグナイタステー取付位置**をご参照の上、取付けを行ってください。

3-3 助手席側インバータの取付け

1. インバータステーLに付属のスクリューグロメットを取付けた後、M5×16ボルトM5スプリングワッシャー、M5平ワッシャーを各3個使用し、インバータ本体をステーに固定してください。
2. ウォッシャータンクを固定しているボルトを外してください。
   まず、ヘッドライトを固定しているボルトとウォッシャータンクを固定しているボルトを使用して、インバータステーLを車体へ固定してください。
   次に、ウォッシャータンク側の樹脂ステーと車体の間にインバータステーLをはさみ、固定してください。



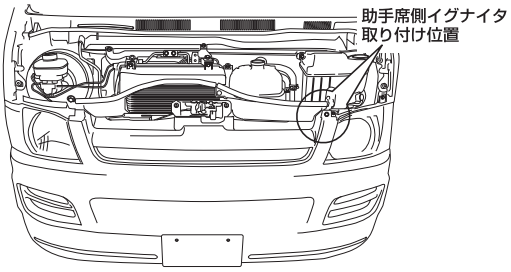




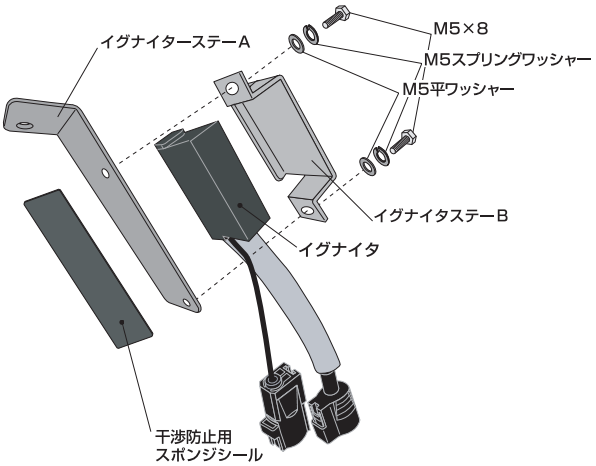
3-4 助手席側イグナイタの取付け

1．付属のボルト（M5×8）、M5スプリングワッシャー、M5平ワッシャーを各2個使用し、イグナイタステーAとイグナイタステーBでイグナイタ本体を挟み固定してください。
※イグナイタ本体を取付た反対の面には、本製品付属の干渉防止用スポンジシールを貼付けてください。

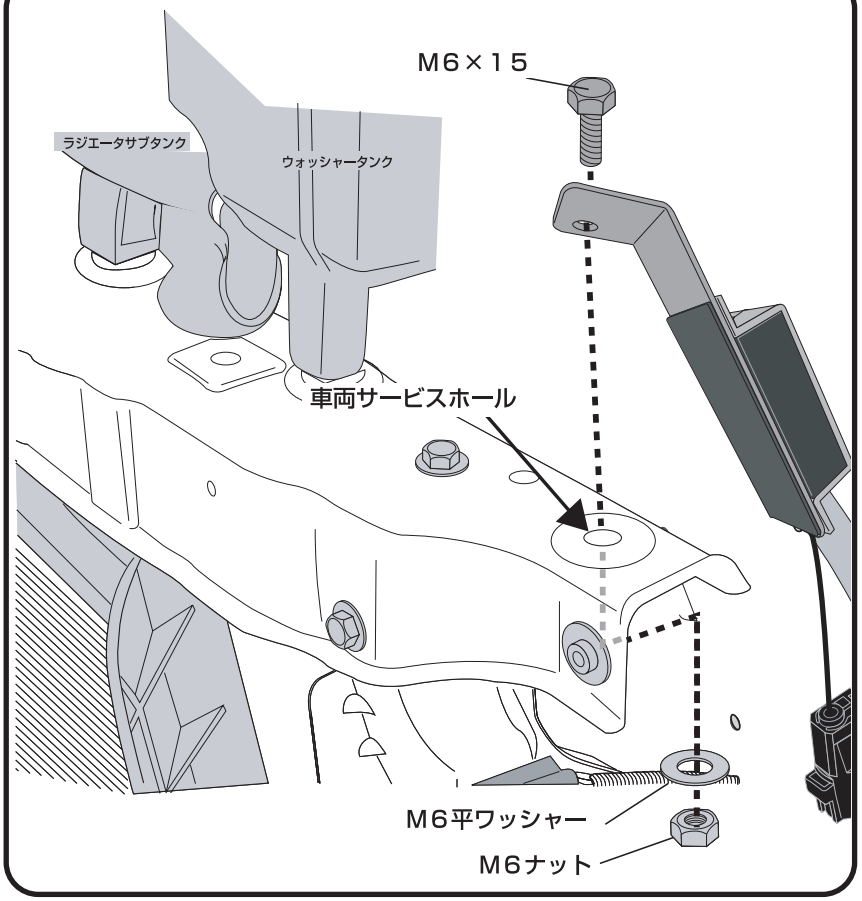
取付位置



イグナイタとステーの組付け



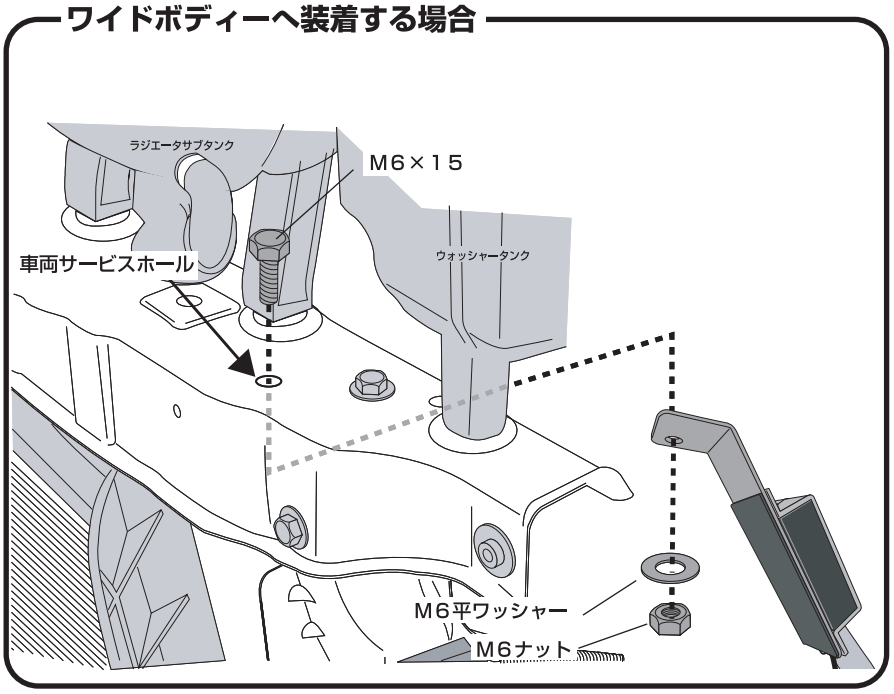
標準ボディーへ装着する場合



2．**標準ボディー車両へ装着の場合**、イグナイタを取付けたステーAを、図の車両サービスホールの上にセットし、付属のボルト（M6×15）、M6平ワッシャー、M6ナットを使用し車両へ取付けてください。

ワイドボディー車両へ装着の場合、イグナイタを取付けたステーAを、図の車両サービスホールの下にセットし、付属のボルト（M6×15）、M6平ワッシャー、M6ナットを使用し車両へ取付けてください。

ワイドボディーへ装着する場合

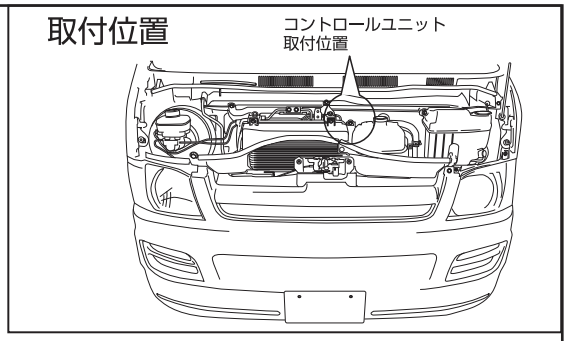


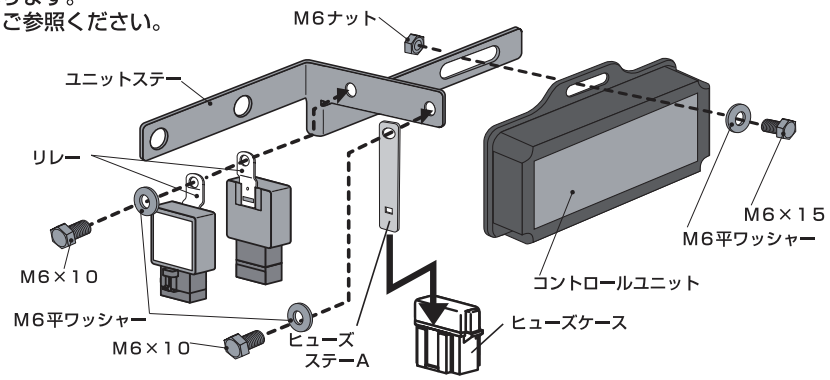
3-6 コントロールユニットの取付け

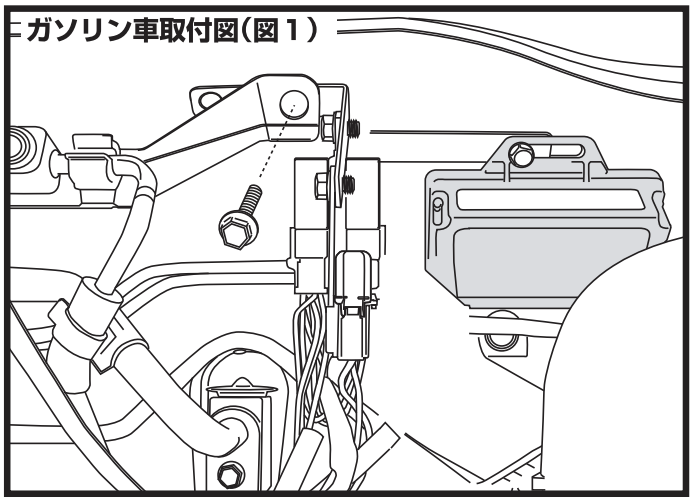
1．付属のボルト(M6×15)とボルト(M6×10)及び、平ワッシャー(M6)とナット(M6)を使用し、ユニットステーに、リレーとコントロールユニットを固定してください。
コントロールハーネスAのヒューズケースは、図の様にヒューズステーAにに取り付けてから、付属のボルト(M6×10)と平ワッシャー(M6)を使用しユニットステーに固定してください。

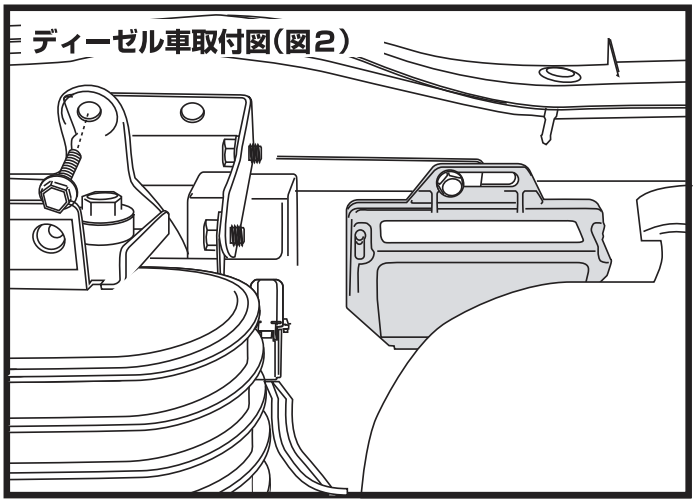
2．車両のボルトを利用し、ユニットステーを車体に取付けます。

【ご注意】
ガソリン車とディーゼル車では、ステーの取り付け穴が異なります。
ガソリン車取付け図(図1)、ディーゼル車取付け図(図2)をご参照ください。



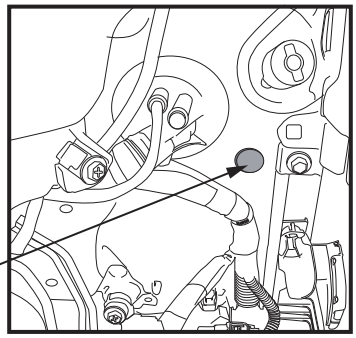


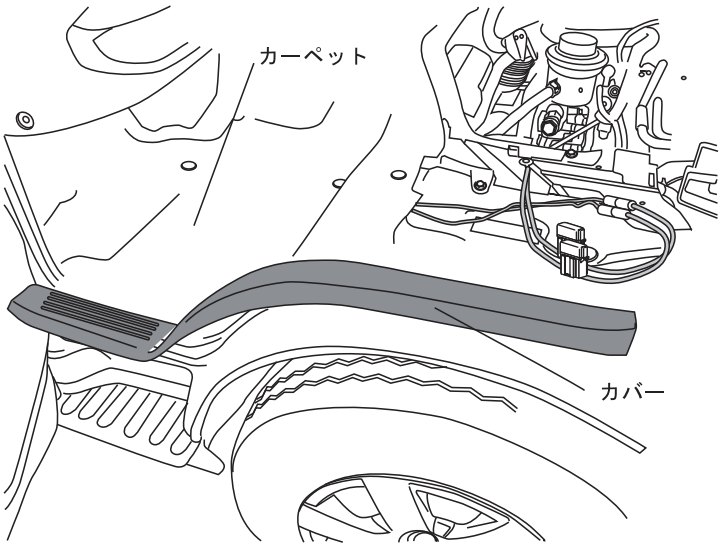




3-7 HID 配線方法

1.HID システムの配線方法は、P4 取付 (システム) 概要接続構成図をご参照の上、作業を行ってください。
2. コントロールユニットの 3 極コネクターと助手席側車両バルブコネクターを接続してください。
3. コントロールハーネス A、コントロールハーネス B、インバータ電源線を、P4 取付 (システム) 概要接続構成図をご参照の上、コントロールユニットバルブへ接続してください。(インバータ電源線のヒューズケースは、インシュロックを使い、車両側配線に固定してください)
4. アースポイントは、P4 図をご参照の上、テスターを使い、導通確認を行ない、アース接続してください。
5. 下記、図をご参照の上、グロメットを外し、この部分からコントロールハーネス A(リレー側) 配線を車内に通してください。
6. 車内に配線を通したら、カバーを外し、カーペットの下に配線を入れヒューズケース側の配線と接続し、バッテリー (+) 端子へ接続してください。
7. 全ての配線の接続が終わったら、付属のインシュロックで余分な配線、ヒューズケースを固定してください。
※コントロールユニット、リレー、ヒューズケース固定は、配線が必ず、下側になる様に固定してください。





3-8 点灯確認・取付

取付け作業が終ったら、正常に作動するか点灯確認を行い、必ず光軸調整を行ってください。
問題がなければ取外したすべての部品を元の状態に戻してください。